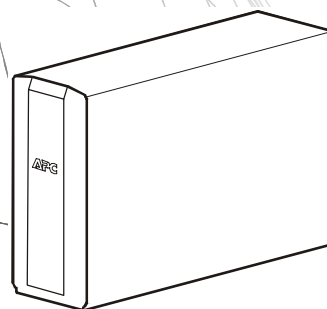




# ユーザーズマニュアル

## APC RS 400 & 550

BR400G-JP  
BR550G-JP



b0001a



## APC製UPS（無停電電源装置）をご使用にあたって

APC製UPS（無停電電源装置）をご使用の前に本書を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。本書は必要なときにすぐ見られるように大切に保管してください。




## はじめに

- ・ 本書はAPC RS 400とAPC RS 550を対象としています。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容に関しては予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記述もれ等、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ・ 記載の商品名は、American Power Conversion Corporationの商標です。

## 安全に関する表記について [重要]









本書では、本装置を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。これらの絵表示の個所は必ずお読みください。また、本書を必ず熟読し、本装置をより安全にご活用ください。

### ・ 安全性に関する事項

 <b>危険</b>	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
 <b>警告</b>	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 <b>注意</b>	指示を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

### ・ 安全上の重要な注意事項

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容

 誤った取り扱いによって、発煙や発火の可能性があることを示しています。	 安全のために、火気の使用を禁止することを示しています。
 誤った取り扱いによって、感電する可能性が想定されることを示しています。	 安全のために、その行為を強制することを示しています。
 安全のために、その行為を禁止することを示しています。	 安全のために、電源ケーブルの入力プラグを必ず抜くように指示するものです。
 安全のために、本装置の分解を禁止することを示しています。	 安全のために、接地（アース）線を必ず接続するよう指示するものです。

## 安全上の注意 [重要]

本装置を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記いたします。

### ・安全上の注意事項



#### 警告



本装置を安全に正しく使用していただくために、本書で説明する注意事項を必ずお読みください。注意事項を無視した取り扱いを行うと、装置が故障するばかりでなく、死亡・ケガ・やけど・感電等の人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となることがあります。



#### 注意



本書を必ずお読みになり、誤った使用をしないようにしてください。また、「危ない」と感じたときは本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。

### ・本装置に関する注意事項



#### 警告



無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。したがって、以下のような用途には使用しないでください。

- ・人体／生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御
- ・きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器等の制御
- ・工作機械の制御
- ・交通機関（電車や自動車等）の制御や管制

## 使用目的と制限事項

### 1. 電波障害について(クラスB情報技術装置)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 2. 装置から放射される電磁波の影響

本装置に限らずコンピュータと呼ばれるものは、その動作原理により装置から電磁波を放射します。現在の技術では、装置から放射される電磁波を完全にシャットアウトすることはできません。特に電波によるリモートコントロールを行っている機械の近くで本装置を使用した場合、機器の誤動作の原因となります。

このような機器のそばで本装置をお使いになる場合は、電磁シールド等の対策を行なう必要があります。

## 3. 輸出/海外での使用について

この装置は、日本国内仕様です。したがって、製品を輸出した場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本装置に対する海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。



## 4. データ保護について

装置の故障または誤動作によるデータの破損、及び稼動中に発生する不測の事態等に備え、お客様の責任においてデータを保護してください。




## 運搬、設置、配線における注意事項

本装置を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記いたします。

### ・ 運搬に関する注意事項

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 持ち運びの際は各製品のユーザーズマニュアルに従って適切な人数にて運んでください。</li><li>・ 無停電電源装置を持ち上げるときはしっかりと持って運んでください。無理に持ち上げると腰等を痛めたり、落としてケガをすることがあります。</li></ul>

### ・ 設置に関する注意事項

 <b>危険</b>	
 	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。</li><li>・ 本装置のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。</li></ul>



## 警告



- ・本装置は内部にバッテリーを含んでいます。AC電源に接続されていない場合でも、出力コンセントに電圧が出力されていることがあります。
- ・UPSの電源が入っている時は電源ケーブルの入力プラグを抜かないください。本装置または本装置に接続された機器から安全接地が外れてしまいます。
- ・発火または感電の危険性をなくすために、本装置は、温度、湿度管理された、清潔で誘電性の汚染物のない室内に設置してください。水の近く、または極度に湿度の高いところでは使用しないでください。



- ・本装置内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいもの等の異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合は、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・本装置内部に水等の液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・本装置をほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。
- ・塩分や腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。



- ・本装置の吸気口および排気口をふさがないでください。本装置内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。
- ・本装置を直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に設置しないでください。熱により火災の原因となります。



## 注意



- ・本装置の上に乗ったり、物を載せないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてケガをすることがあります。
- ・本装置を不安定な場所に設置しないでください。本装置が倒れ、ケガをすることがあります。
- ・常時震動する場所や、衝撃の発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。

## 配線に関する注意事項



### 注意



- ・ AC100V (50/60Hz) の電源電圧にてご使用ください。規定以外のAC電源にて使用すると故障し、火災、感電等の原因となります。
- ・ アースを確実に取り付けてください。取り付けない場合、故障・漏電の際に感電の原因となります。また、ノイズ混入の原因にもなります。
- ・ 本装置を設置する前に、電源ケーブル、入力プラグ、出力コンセントに破損のないことを確認してください。破損したものを使用すると、故障、火災、感電等の原因となります。
- ・ 本装置に接続されているケーブル類は曲げたり束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、感電や火災の原因となります。
- ・ ケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。
- ・ コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水等で濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
- ・ 電源ケーブルの抜き差しは、本装置をオフにし、電源を切ってから入力プラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルの破損により感電や火災の原因となります。
- ・ 電源はコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。
- ・ 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。無停電電源装置の電源仕様に合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。



- ・ 電源ケーブルを足でひっかけるような場所には配線しないでください。つまずいて怪我をすることがあります。
- ・ 無停電電源装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線を他の機器の接地線（とくに大電力を消費する機器等）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。

## 使用上の注意事項

本装置を安全に使用するための注意事項を表記いたします。

### ・ 本装置の禁止事項









### 注意



- ・ 本装置はシーケンサ等の電圧波形によって動作を左右されるような工作機械への使用には適しておりません。
- ・ この装置は、短時間の商用電源変動に対応する無停電電源装置ですが、商用電源が常に不安定な環境における商用電源の修正を目的とした使用には適しておりません。
- ・ レーザプリンタを本装置のバックアップコンセントに接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。



## ・使用上の注意

 <b>危険</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無停電電源装置を停止する前に、接続機器を停止させること（停止方法は接続機器の取扱説明書参照）。接続機器を停止させずに無停電電源装置を停止させると、処理中のデータを破壊する原因となります。</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本装置の使用中に異音、異臭の発生や異常が生じた時は、直ちに本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶縁耐圧試験、絶縁抵抗試験を行うことを禁止します。発煙、火災、故障の原因となります。</li> <li>・強い衝撃や震動を与えないでください。本製品が破損したり、故障の原因となることがあります。</li> </ul>

## バッテリーの寿命

本装置では、バッテリーを使用しています。このバッテリーには寿命があり、バッテリーの寿命を越えた状態で使用された場合、思わぬ障害を発生させる原因となります。予防保全のためにも、バッテリーは必ず定期的に交換してください。なお、電池工業会では小形制御弁式鉛蓄電池の安全の取扱いの指針（電池工業会指針：SBA G 0202）に基づき、以下のとおり取替え時期を定義しています。

使用温度条件	取替え時期の目安
5～25℃	4.0年
30℃	2.8年
35℃	2.0年

※取替え時期の目安は、保証値ではありません。

取替え時期を過ぎて使用すると、バッテリーの機能を発揮できなくなるだけでなく、バッテリーの内部短絡や電槽の破損等が発生し、発煙、火災の原因となる場合があります。そのため、バッテリーは必ず定期的に交換してください。また、バッテリーの使用個数の多い機器や信頼性の要求される重要な使用機器においては、取替え時期を早めてください。

## ・バッテリーの寿命



### 警告



- ・バッテリーは必ず定期的に交換してください。
- ・バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。
- ・バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。
- ・本装置周辺の荷物の積み上げ等で換気が妨げられた場合、バッテリーの温度が上昇し、寿命が短縮します。
- ・本装置は周囲温度が5～25℃の範囲内で管理することをお勧めします。

## バッテリー交換に関する注意事項

本装置のバッテリーを交換する上での、安全上の注意事項を表記いたします。

### ・バッテリー交換時の注意



### 危険



- ・バッテリーは定期的に交換してください。
- ・バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することもあります。
- ・万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。



- ・本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れないでください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。
- ・バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。
- ・バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。



### 警告



バッテリーの取扱いでは短絡大電流による感電または火傷のおそれがあります。次の注意事項を必ず守ってください。

- ・時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を外してください。
- ・絶縁された取っ手のついた工具を使用してください。
- ・バッテリーの上に工具または金属部品を置かないでください。

バッテリー配線またはコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。

最初にUPSに取り付けられていたバッテリーと同一仕様のバッテリーに交換してください。APC製のバッテリー以外はサポートしかねますのでご了承ください。

UPSがバッテリー運転のときに、バッテリー交換をしないでください。

## ・バッテリーのリサイクルについて

本装置には、鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルへご協力ください。



- ・バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。
- ・バッテリーキットの交換とバッテリーのリサイクルについての詳細は、弊社までお問い合わせください。
- ・使用済バッテリーは必ずリサイクルしてください。使用済バッテリーは、バッテリー交換用の梱包材を使用して指定の宛先に送料お客様負担にて郵送を送付願います。
- ・使用済バッテリーの郵送先は、交換バッテリーキットをご参照ください。

## 保守に関する注意事項

本装置の保守に関する注意事項を表記いたします。

### ・点検とお手入れ



### 警告



保守員以外の方は、本装置の分解、修理、改造等しないでください。分解、修理、改造等すると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。



- ・本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、本装置正面パネルのオフボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜いてください。
- ・本装置はバッテリーを搭載しているため、電源ケーブルを外した状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分がありますので、絶対に装置内部に触れないでください。
- ・濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。
- ・雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置に触れないでください。感電することがあります。



## 注意

本装置をより良くご使用いただくために、次の事に注意して定期的に点検してください。

- ・本装置正面パネルにあるLCD表示板やボタンが壊れていないか、点灯していることを点検してください。
- ・設置されている部屋の温度や湿度を点検してください。
- ・本装置のお手入れは、乾いたきれいな布で拭いてください。
- ・シンナー、ベンジン等の揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。外装を痛めたり、故障の原因となることがあります。
- ・年に一度、ケーブルや電源コードがすり切れていないか、変質しているところがないか点検してください。



## 保管に関する注意事項

本装置では、バッテリーを使用しています。そのため、保管中には定期的に補充電を行ってください。なお、電池工業会では小形制御弁式鉛蓄電池の安全の取扱いの指針（電池工業会指針：SBA G 0202）に基づき、以下のとおり補充電を必要とする時期を定義しています。

温 度	期 間
25℃以下	6ヶ月
30℃以下	4ヶ月
35℃以下	3ヶ月
40℃以下	2ヶ月

### ・無停電電源装置の保管



## 危険

本装置を長期間保管する場合は、次の事に注意してください。

- ・保管前はバッテリーを十分に充電してください。
- ・乾燥した温度の低いところに保管してください。
- ・バッテリーは保管中も劣化するため、なるべく早く使用してください。
- ・40℃を超えての保管は避けてください。
- ・使用前には、必ず補充電をしてください。
- ・定期的にバッテリーの補充電を行ってください。

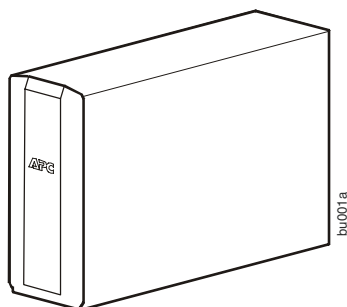


# APC®

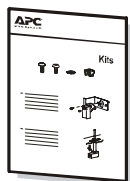
Legendary Reliability™

## APC RS 400 & 550

### パッケージの内容



UPS



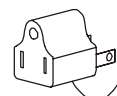
ユーザマニュアルおよび  
CD-ROM  
ユーザ保証登録ご案内シート



専用 USB ケーブル



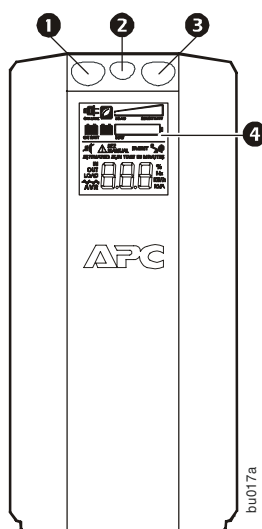
電話回線用パッチケーブル



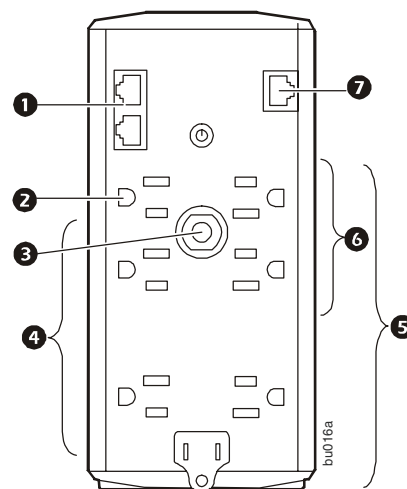
入力プラグ  
変換アダプター

### 概要

- ① ミュートボタン
- ② 電源スイッチボタン
- ③ 表示/メニューボタン
- ④ LCD ディスプレイ



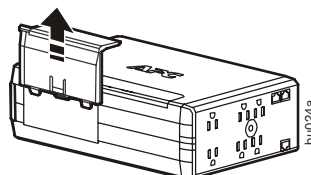
- ① ネットワーク/電話  
回線保護ポート
- ② マスタコンセント
- ③ サーキットブレーカ
- ④ バックアップ  
コンセント
- ⑤ サージ保護のみ  
コンセント
- ⑥ マスタ連動コンセント
- ⑦ インターフェースポート



### 設置

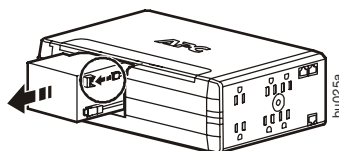
#### バッテリーの接続

①



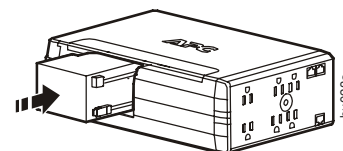
バッテリーカバーを開けます。

②



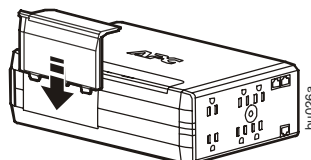
バッテリーを取り出します。ケーブル  
を接続します。

③



バッテリーを元の位置に戻します。

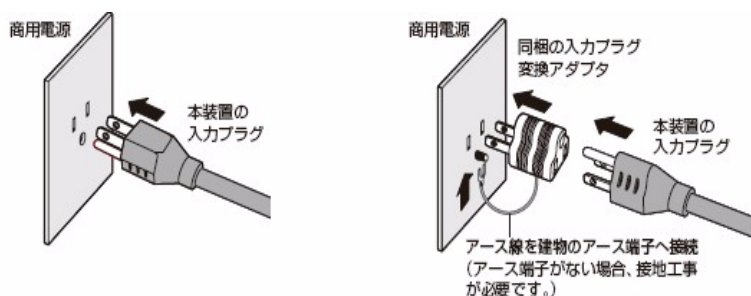
④



バッテリーカバーを取り付けます。

## バッテリーの充電

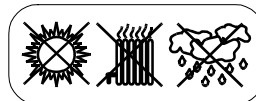
バッテリーバックアップを完全に機能させるには、12 時間以上バッテリーを充電してください。本装置は、電源をオフにしている間を含め、商用電源に接続している間は充電が行われます。



## 機器の接続



UPS を直射日光が当たる場所、高温や多湿になる場所、液体に触れるような場所には設置しないでください。



本装置にレーザプリンタやヘッドライヤを接続しないでください。

接続した機器が本装置の最大出力容量を超えていないことを確認してください。

1. 出力コンセントはバックアップコンセントとサージ保護のみコンセントの 2 種類あります。商用電源から電力供給を受けている場合はそのまま両コンセントに電源供給が行われます。停電時にはバックアップコンセントに最大出力容量範囲内の電力供給が一定時間行われます。(バックアップコンセントには停電時に電源のバックアップが必要な機器を接続してください。)

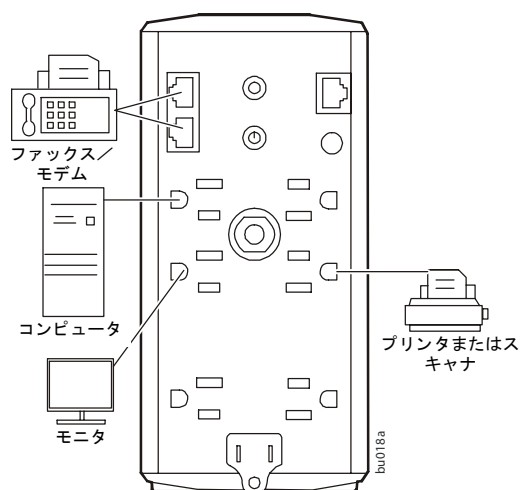
2. 機器の AC 電源ケーブルを本装置に接続します。

3. 本装置を商用電源に接続してください。本装置をサージ保護装置または OA タップには接続しないでください。

4. モデムまたは電話を回線サージ保護ポートの出力に接続します。

5. 付属の電話回線ケーブルで本装置の入力と回線ジャックに接続します。

6. 主装置（マスタ）および周辺機器を接続します。「設定」（4 ページ）を参照してください。



## 電源スイッチをオンにする

1. 電源スイッチボタンを押して本装置に電源を入れます。

2. 本装置から短い警告音が一回鳴ります。LCD ディスプレイ内のオンラインアイコンが点滅し、セルフテスト完了後、オンラインアイコンが点灯して、本装置がオンになります。

## PowerChute® Personal Edition ソフトウェアのインストール

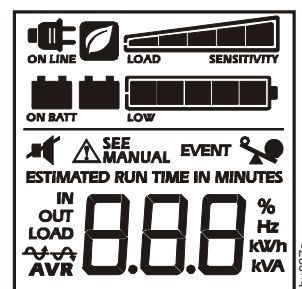
「本装置のインタフェースポートに付属の USB ケーブルを接続します。ソフトウェアのインストール方法の詳細については PowerChute Personal Edition に同梱されている本ソフトウェアの CD-ROM をご参照ください。

# 操作

## LCD ディスプレイ

**アイコンの説明** 本装置前面の LCD ディスプレイには、システムの状態を示すメッセージ、システムフォルト、および負荷容量とバッテリー充電レベルがリアルタイムで表示されます。

本装置前面にあるミュート、電源スイッチ、表示／メニューの3つのボタンは、本体を操作するために使用します。



**オンライン** — 接続されている機器に UPS から商用電源が供給されています。



**マスタ連動コンセント運転中** — マスタ連動コンセント運転（省電運転）の設定がオンになっています。



**バッテリー運転中** — 商用電源が切れて、内蔵バッテリーによる電源供給がされています。



**バッテリー交換** — バッテリーが接続されていないか、バッテリーの寿命が近づいています。必要に応じてバッテリーを交換します。



**ミュート** — アラーム音の出力がオフになっています。



**バッテリー充電** — 5つの目盛りすべてが点灯すると、本装置が完全に充電されていることを示します。点灯している目盛りが1つになると、本装置のバッテリー容量がなくなりかけていることを示します。

**EVENT**



**イベント** — イベント数を表示します。点灯している場合、本装置にイベントが発生しているため、注意が必要です。

**IN  
OUT  
LOAD**



**IN** — 入力。

**OUT** — 出力。

**LOAD** — 負荷



**AVR 機能作動中** — 点灯している場合、本装置の自動電圧調整機能が入力電圧の低下または過電圧状態でも本調整機能によりバッテリー電源を使用することなく出力電圧を修正しています。

**システムフォルト** — システムに障害が発生しています。LCD ディスプレイに障害の番号が表記されます。



**負荷容量** — 5つの目盛りすべてが点灯すると、本装置が最大容量になっていることを示します。本装置が容量を超えると、過負荷状態を示す記号が表示されます。

## 操作手順

表示画面をスクロールするには表示／メニューボタンを押します。

ボタンを押す回数	オンラインモード	バッテリー運転中モード
1	入力電圧表示	ランタイム時間表示（分）
2	カウンター表示	イベントカウンター 表示
3	ランタイム時間表示	出力電圧表示
4	負荷表示（ワット）	入力電圧表示
5	負荷表示（％）	負荷表示（ワット）
6	出力電圧表示	負荷表示（％）
7	出力周波数表示	出力周波数表示



# 設定

## マスタ連動コンセント機能とは



待機電力を節約するために、本装置のマスタコンセントにコンピュータをつなぎ、マスタ連動コンセントにその周辺機器をつなぐことで、コンピュータのスリープモード、またはオフに連動して周辺機器を自動的にオン／オフにすることができます。マスタ装置がスリープまたはスタンバイモードになるか、電源をオフにすると、周辺機器の電源もオフになり、電力が節約されます。

**マスタ連動コンセント機能の有効化** ミュートボタンと表示ボタンを同時に 2 秒間押し続けます。本装置から警告音が鳴り、この機能が有効になったことを示します。LCD ディスプレイに葉っぱのマークが点灯します。

**マスタ連動コンセント機能の無効化** ミュートボタンと表示ボタンを同時に 2 秒間押し続けます。本装置から警告音が鳴り、この機能が無効になったことを示します。LCD ディスプレイに葉っぱのマークが消灯します。

**マスタ連動コンセントの切替値設定** スリープまたはスタンバイモードで装置が使用する電力の量は装置によって異なります。このため、マスタコンセントがマスタ連動コンセントにシャットダウンの信号を送るときのマスタ連動コンセントの切替値を調整する必要があります。

- 1.主装置がマスタコンセントに接続されていることを確認してください。その装置をスリープまたはスタンバイモードにする、あるいは電源を切ります。
- 2.表示ボタンとミュートボタンを同時に 6 秒間押し続けます。葉っぱのマークが 3 回点滅し、本装置から警告音が 3 回鳴ります。
- 3.これで本装置で主装置のしきい値レベルが認識され、新しいしきい値の設定として保存されます。

## LCD 表示の常時点灯または節電モードの設定

- 1.本装置が商用電源に接続され、電源がオンになっていることを確認します。
- 2.メニューボタンを 2 秒間押し続けます。バッテリー残量レベルバーが点滅し、本体が設定可能モードになったことを示します。
- 3.表示画面をスクロールするにはメニューボタンを押します。ボタンから指を離すと、表示モードが選択されます。



節電モード



常時点灯モード

## バッテリー運転切替値（感度）

UPS の感度を調整し、バッテリー電源に切り替わる電圧を制御します。感度を高くするほど、バッテリー電源に切り替わる頻度が多くなります。

- 1.本装置が商用電源に接続され、電源オフになっていることを確認します。
- 2.電源スイッチボタンを 6 秒間押し続けます。負荷容量レベルバーが点滅し、本体が設定可能モードになっていることを示します。
- 3.電源スイッチボタンをもう一度押し、メニューオプションを切り替えます。選択した感度のところで止めます。本装置から警告音が鳴り、選択が確認されます。



低感度

78 ~ 126 VAC

入力電圧が極端に低いまたは高い。  
(コンピュータ用途には推奨されません。)



中感度

82 ~ 120 VAC

標準レベル



高感度

85 ~ 120 VAC

接続されている機器が電圧の変動に敏感である。



# 警告および障害

## 警告

表示ボタンを押すと、ディスプレイの表示が切り替わります。

### 警告 1



オンライン運転中で過負荷の状態です。オンラインアイコンが点灯し、過負荷アイコンが点滅します。

### 警告 2



バッテリー運転中で過負荷の状態です。バッテリーアイコンが点灯して、過負荷アイコンの点滅で知らせます。

### 警告 3



オンライン運転中でバッテリーの寿命です。バッテリーアイコンが点滅します。

### 警告 4

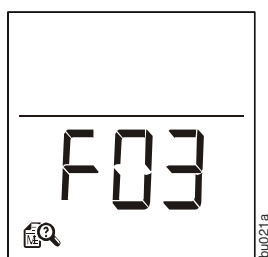


バッテリーの残量が低い状態で、バッテリー充電表示バーが点滅します。














## システムフォルト



本装置に表示されるシステムフォルトメッセージは9つあります。メッセージが表示されたら APC テクニカルサポートにご連絡ください。



# 機能ボタンクイックレファレンス

機能	ボタン	時間 (秒)	UPS の 状態	説明
<b>電源</b>				
電源スイッチオン		0.2	オフ	電源スイッチボタンを押して入力商用電源の受電を開始します。商用電源が利用できない場合、本装置はバッテリー電源で作動します。
電源スイッチオフ		2	オン	本装置では入力商用電源を受電していませんが、サージ保護機能は作動しています。
<b>表示</b>				
状態チェック		0.2	オン	本装置の状態または条件を確認します。LCD は 60 秒間点灯します。
常時点灯モード／ 節電モード		2	オン	本装置で警告音が鳴り、LCD 表示が常時点灯モード／節電モードであることが確認されます。節電モードになっている場合は、LCD は 60 秒後に暗くなります。
<b>ミュート</b>				
イベント特定		0.2	オン	イベントによって起動される警告音をすべて無効にします。
警告音の有効化／ 無効化		2	オン	警告音を有効または無効にします。ミュートアイコン点灯し、本装置から警告音が一回鳴ります。ミュート機能は、UPS がバッテリー運転になっていない限り有効にはなりません。
<b>感度</b>				
		6	オフ	負荷容量アイコンが点滅、本装置が設定可能モードであることを示します。電源スイッチボタンを使用し、低感度、中感度、高感度を切り替えて、選択する感度で止めます。本装置からの警告音が出され選択が確認されます。詳細については、「設定」の項を参照してください。
マスタ連動コンセント 機能の有効化／無効化	 	2	オン	葉っぱのマークが暗くなり、マスタコンセント機能が無効になっていること、あるいは点灯して、機能が有効になっていることを示します。本装置で警告音が一回鳴ります。
マスタ連動コンセント 切替値設定	 	6	オン	マスタ連動コンセントの切替値の校正中に、マスタコンセントに接続されている装置はオフまたはスタンバイモードあるいはスリープモードにしてください。校正が終了すると、節電アイコンが 3 回点滅し、警告音が 3 回鳴ります。
セルフテスト (手動)		6	オン	UPS が内部バッテリーのテストを実行します。注：このテストは電源をオンにしたときに自動的に行われます。
イベントのリセット	 	0.2	オン	イベント画面が表示されているときに、表示ボタンを押したままにして、電源スイッチボタンを押し、イベントカウンターをリセットします。
フォルトのリセット		2	障害	フォルトの確認が終わった後に、電源スイッチボタンを押して表示されている指示を削除し、スタンバイ状態に戻します。

## トラブルシューティング（故障かな？と思ったら）

問題	原因	対処
本装置の電源が入らない。	本装置が商用電源に接続されていません。	本装置が AC コンセントに接続されていることを確認してください。
	サーキットブレーカが落ちています。	本装置から外してもさしつかえない機器を外します。サーキットブレーカをリセットします。外した機器を 1 つずつ接続します。再びサーキットブレーカが落ちたら、その原因となった機器を外します。
	内部のバッテリーが接続されていません。	バッテリーを接続してください。
	商用入力電圧が範囲外です。	バッテリー運転切替値の感度範囲を調整します。
停電時に本装置から電源が供給されない。	必要な機器がサージ保護のみコンセントに接続されています。	機器をサージ保護のみコンセントから外し、バッテリーバックアップコンセントに接続します。
商用電源に接続しているのに、頻繁にバッテリー運転になる。	本装置の電源ケーブルが商用コンセントにしっかり接続されていないか、コンセントが通電していないか、サーキットブレーカが落ちています。	本装置の電源ケーブルが商用コンセントにしっかり接続されていることを確認します。コンセントが通電しているかどうかを、他の装置を接続して確認します。
	本装置が自動セルフテストを実行しています。	対処は必要ありません。
	商用電源の入力電圧が範囲外、周波数が範囲外、または波形が歪んでいます。	バッテリー運転切替値の感度範囲を調整します。
本装置のバックアップ時間が本来あるべき時間より短い。	本装置が過負荷状態になっています。	外してもさしつかえない機器をバッテリーバックアップコンセントから外し、サージ保護のみコンセントに接続します。
	最近、バッテリーが停電のために放電し、まだ完全には充電されていません。	バッテリーに 16 時間充電します。
	バッテリーの寿命です。	バッテリーを交換します。
バッテリー交換表示が点灯している。	バッテリーの寿命です。	バッテリーを交換します。
過負荷表示が点灯している。	本装置に接続されている機器が、本装置で給電可能な電力よりも多く使用しています。	外してもさしつかえない機器をバックアップコンセントから外し、サージ保護のみコンセントに接続します。
システムフォルト表示が点灯し、前面パネルにあるすべての表示が点滅している。	内部障害が発生しています。	LCD に表示されている番号に対応する障害メッセージ（FXX）をチェックし、表示されている内部障害メッセージの内容を確認して、APC コールセンタまでご連絡ください。
		F01
		F02
		F03
		F04
		F05
		F06
		F07
		F08
		F09
一部のコンセントに電源が供給されない。	マスタ連動コンセントがオフになっている可能性があります。	マスタ連動コンセント機能を無効にします。
主装置がスリープモードになっていないのに、マスタ連動コンセントに電源が供給されていない。	マスタ連動コンセントの切替値が正しくセットされていない可能性があります。	マスタ連動コンセントを設定し直し、切替値が設定されたら、マスタ連動コンセントに接続されている装置がスリープまたはスタンバイモード、またはオフであることを確認します。

## 仕様

<b>全般</b>	
運転方式	ラインインタラクティブ方式
<b>入力</b>	
定格入力電圧	100VAC
相数	単相 2 線 アース付き
周波数	50/60Hz（自動検出）
入力電圧範囲（±30） （AVR 機能動作時）	初期設定：82V ～ 123V 下限設定範囲値：78V ～ 85V 上限設定範囲値：120V ～ 126V
電源ケーブル長	1,800mm
入力プラグ形状	NEMA5-15P
<b>出力</b>	
出力コンセント形状	NEMA5-15R
出力コンセント数	バックアップコンセント x 3 個 サージ保護のみコンセント x 3 個
最大出力容量	400VA/240W（BR400G-JP） 550VA/330W（BR550G-JP）
出力電圧	100 V ±8%
周波数	50/60 Hz ±1
バッテリー運転時の出力波形	矩形波
切替時間	最大 10ms
<b>サージ保護 / ノイズ</b>	
サージ保護	あり
ノイズフィルタ	あり
回線保護	ADSL、ISDN、10Base-T、100Base-T
<b>インターフェース</b>	
インターフェース	USB v1.1

## サービス

納品された本装置に損傷があるときは、配送業者にご連絡ください。

本装置の修理が必要なときは、販売店に返送せず、

1. 一般的な問題への対応は、本書のトラブルシューティングの項を参照してください。
2. 問題が継続する場合は、  
<http://www.apc.com/support/> にアクセスしてください。
3. それでも解決しないときは、APC テクニカルサポートまでご連絡ください。

本装置のモデル番号、シリアル番号、購入日が分かるようにしておいてください。APC テクニカルサポートの担当者にトラブルシューティングを依頼する準備をしてください。問題が解決されない場合は、APC より商品返品確認（RMA）番号と送付先住所をお知らせします。

## 保証

本装置の無償保証期間は 2 年間です。ユーザ保証登録時に申請いただきました本装置購入日を起算日とします。ユーザ保証未登録の場合は、原則として本装置のシリアル番号から製造時期を確認し、それより 27 ヶ月間を無償保証期間とします。

＊無償保証期間内でも次の場合はサポート対象外です。

1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお扱いが適切ではないために生じた故障・損傷の場合。
2. 火災・地震・風水害・落雷等の天災地変、テロ、暴動、公害、煙害、ガス害（硫化ガス棟、異常電圧や指定外の電源使用等による故障・損傷の場合。
3. ご使用での誤り、あるいは不当な修理・調整・改造を行ったことによる故障・損傷の場合。
4. 海外で使用された場合。

本装置には製品保証書が同梱されていません。製品購入日より 10 日以内に、ユーザ保証登録ページ (<http://www.apc.com/jp/s/sands/register/index.cfm>) よりご登録ください。ユーザ保証登録ページからご登録ができない場合はコールセンタまでご連絡ください。弊社での登録完了後、製品保証登録完了の通知をご登録いただきましたメールアドレスへ送らせていただきます。

＊製品保証は製品を国内で使用した場合のみ有効です。

ご登録いただきました住所またはメールアドレスに弊社からの製品・サービスのお知らせやご案内をお送りする場合もございます。ご登録内容の変更の際には弊社にご連絡ください。

## APC ワールドワイドカスタマサポート

### お問い合わせをいただく前に

はじめに本書、またはホームページ <http://www.apc.com/jp> をご覧ください。お問い合わせいただく際は、以下の情報をご用意ください。

UPS 本装置の製品型番とシリアル番号

電源管理ソフトウェア OS、電源管理ソフトウェアのバージョン

### APC WEB Support

ご使用の不明な点、技術的なお問い合わせ、及び故障受付のホームページです。

<http://www.apc.co.jp/sands/>

### コールセンタ

ご使用上の不明な点、技術的なお問い合わせ、及び故障受付の電話窓口です。

電話：03-6402-2030

受付時間：月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:00

（ただし、祝祭日、弊社の定めた休日を除く）

990-3464A  
04/2009